

# 令和7年度 情報リテラシー(数理データサイエンス入門)自己点検評価について

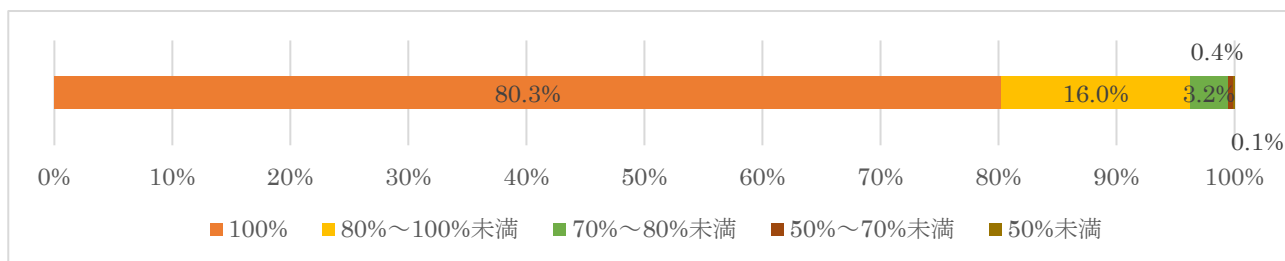
## 1. 履修率・修得率について

年度	学生数	履修		修得	
		履修者数	履修率	修得者数	修得率
令和4年度	2203名	1995名	90.6%	1912名	95.9%
令和5年度	2267名	2064名	91.0%	1976名	95.7%
令和6年度	2281名	2066名	90.1%	1965名	95.1%
令和7年度	2299名	2092名	91.3%	2006名	95.9%

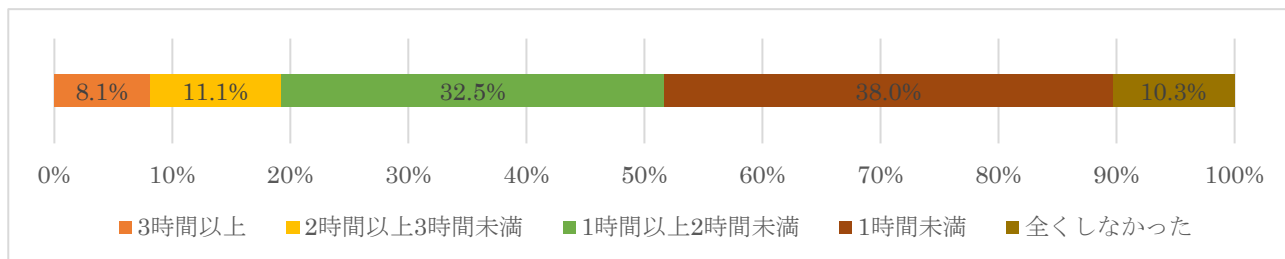
※ 学生数は5月1日付。

## 2. 授業アンケート結果について

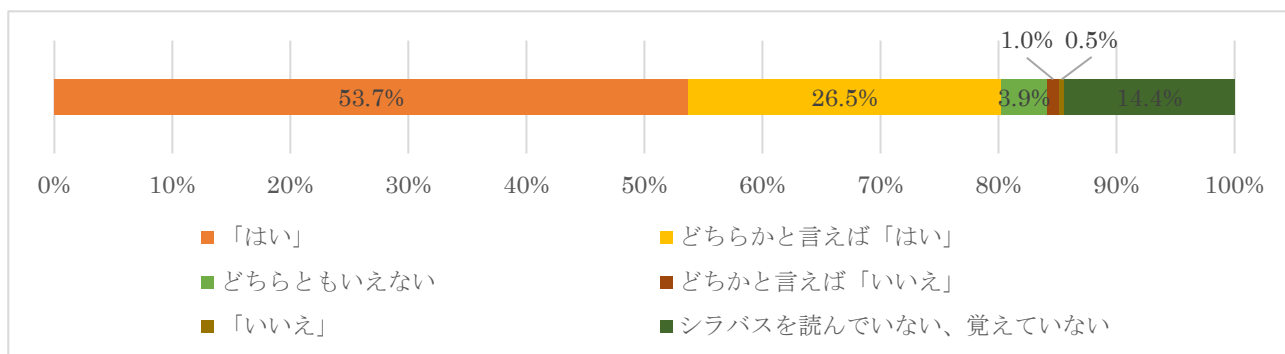
Q1 あなたはこの授業への出席率は何の程度でしたか。



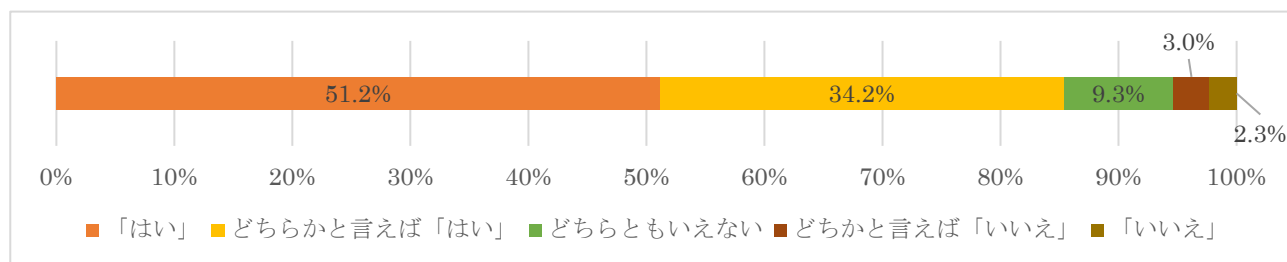
Q2 この授業について、予習・復習や課題など、授業時間以外に取り組んだ学習時間は、1週間あたり平均してどの程度でしたか。



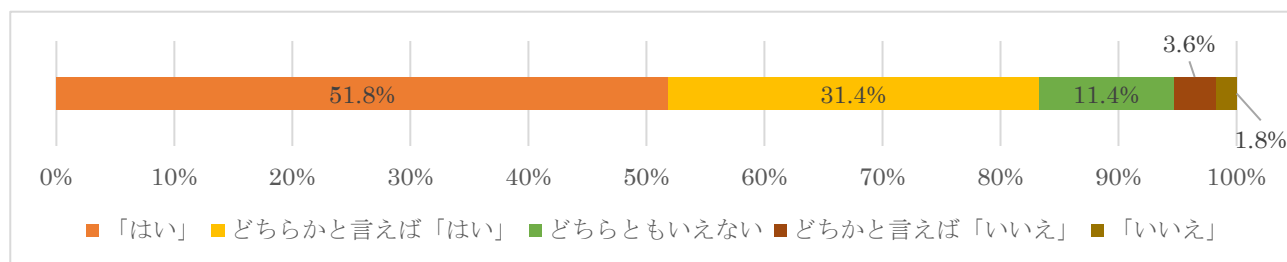
Q3 実際の授業とシラバスに書かれた科目の目的や達成目標は合致していましたか。



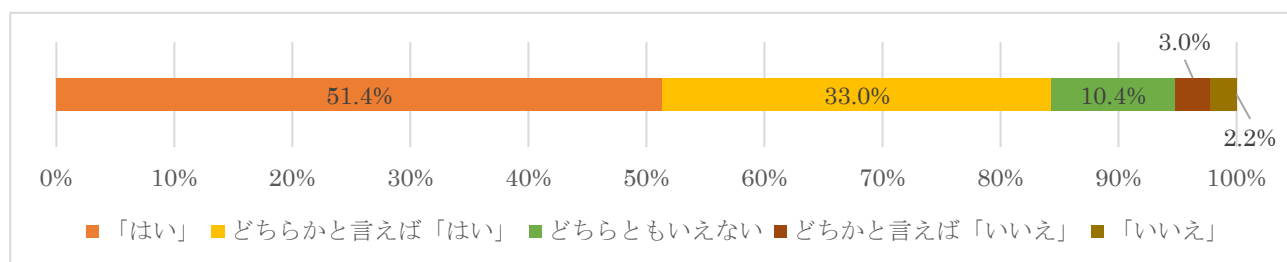
**Q4 教員は、学生の理解度・習熟度を把握しながら授業を進めていましたか(小レポート、小テスト、課題提出、アンケート、問いかけなど)。**



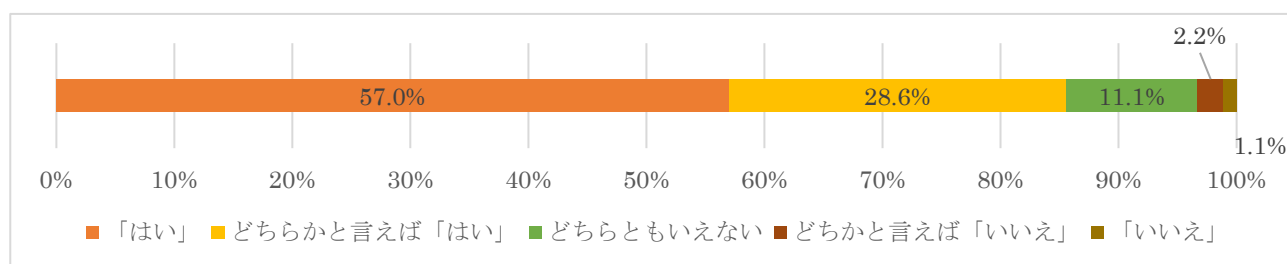
**Q5 授業に関して提出した課題(レポートや小テストを含む)に対する教員のフィードバック(解答例や評価の開示、レポートの返却、代表的なレポートに対する教員のコメント等のいずれか)は、適切だと思いましたか。**



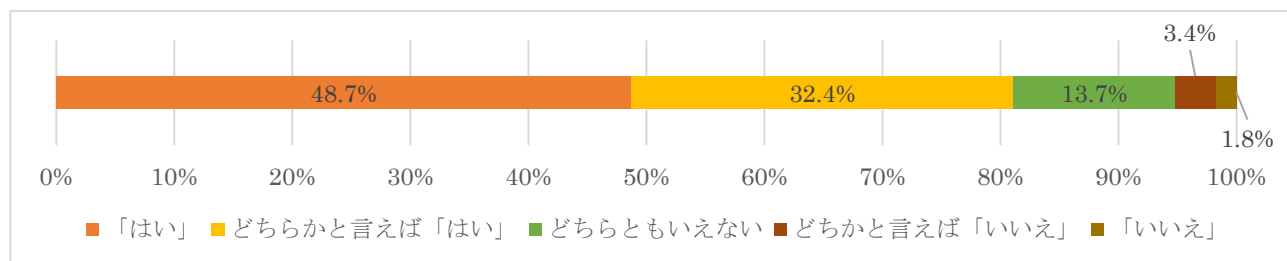
**Q6 教員の教え方はあなたにとって適切でしたか(説明のわかりやすさ、時間配分、明確な指示など)。**



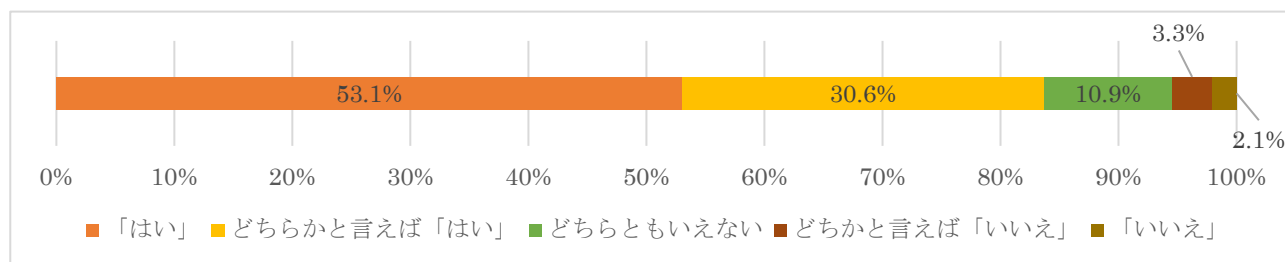
**Q7 教材は役立ちましたか(テキスト・配布資料・デジタルコンテンツ、レポート課題・事前事後学習の課題など)。**



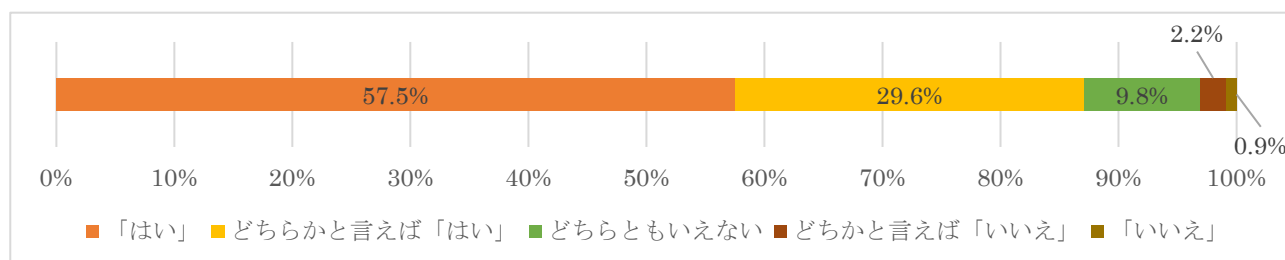
**Q8 教員は、学生が授業に意欲的に取り組めるように工夫していましたか。**



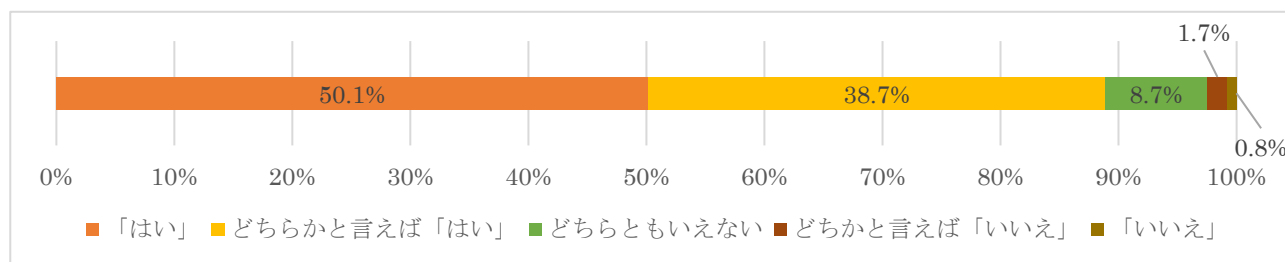
**Q9 授業中の能動的学習や学習参加(一方的な講義に終始せず、学生を参加させたり、興味を促したりする工夫)は、学びの定着に役立ちましたか。**



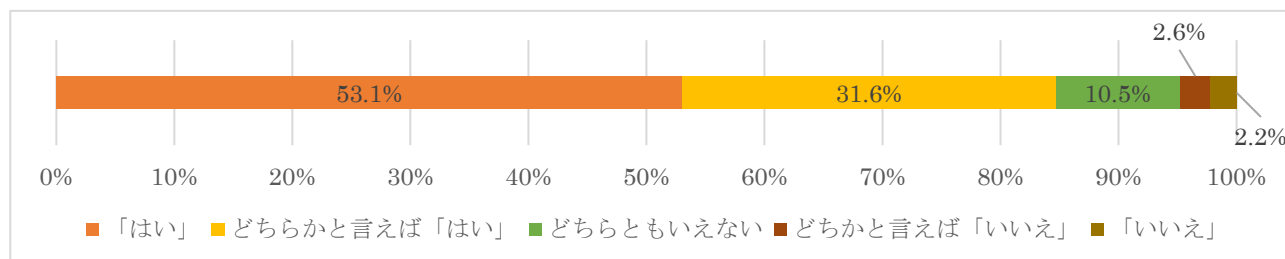
**Q10 教員は、成績評価の方法や基準をシラバスや口頭、配布資料などで明確に示しましたか。**



**Q11 この科目の授業内容を理解・習得できましたか。**

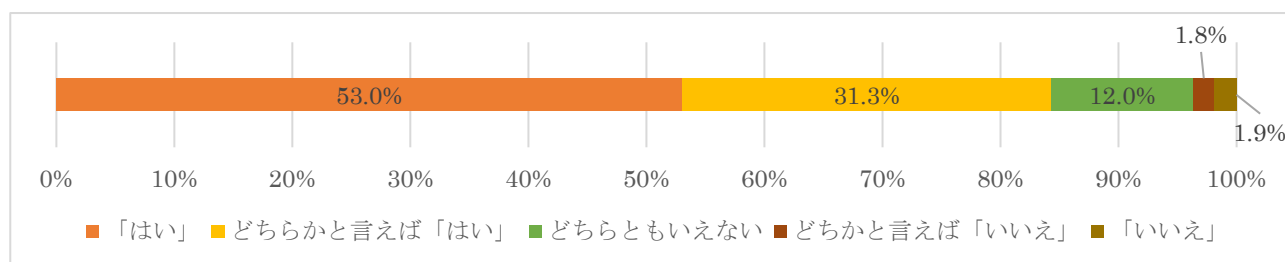


**Q12 この科目の内容について、興味と関心が深まりましたか。**



**Q13 本学では、建学の精神「実学尊重」ならびに教育・研究理念「技術は人なり」を具現化する教育に取り組んでいます。**

**このことを踏まえて、授業中に提供された「科学技術の実用性や奥深さに関する話題」あるいは「科学技術者に求められる人間性や教育に関する話題」は、学びへの興味喚起や意欲向上に役立ちましたか。**



**Q14 この授業について、良かった点を具体的に書いてください。**

- ・情報のリテラシーについて必要な知識を身につけることができた。
- ・Word・Excel・PowerPointなどの基本的な操作を学べた。
- ・丁寧で分かりやすい説明だった。話のペースがよかった。
- ・授業の内容を改めて動画で見られること。
- ・アクティブラーニングの進行速度が適切で理解しやすかった

**Q15 この授業について、改善した方がよい点、改善のための提案等を具体的に書いてください。**

- ・授業の進行がはやく感じるがあった。
- ・授業の進行がゆっくりに感じた。
- ・時おり難しい課題があった。
- ・既に知っている内容が多かった。
- ・プログラミングに関する内容を増やしてほしい。

以 上